東部滿

蘇國

境

Ł

斷

**コシエットよりパイカル湖の北側** 

即翻東東司令官兼駐兩大使を召され約一時間に亘り添洲国の **|御茶の顧を創版し遊ばされ御職上去る六日凱旋人京した南**||東京海話】 天墨曜下には九日午後二時より宮中御泉間所

脚艦上より今回の不祥事に動し軍」にしたのも午後一時半より西屋で 

一時間

師團長官會議〈第二日

聽取遊ばさる

宮中にお茶の會

各委員の確然たる国際法

参謀總長宮殿下から

ンパの平和確立に顕するフ

は、相互援助艦副の雕立脈に道備

こ き午後四時開催イギリス側からイ 変感 は八月午前の非公開館議に引流 E

する赤十年病説附単版の報告アチータリー軍の警息性表見新使用に闘

書においてヒトラー総統の回答

るイツ或肝の極足地帯分割要が条の ・ 一般の常設、関端整備軍の設造、ド ・ 年の常設、関端整備軍の設造、ド ・ 年の一般の常数、関端を関すの設造、ド

ドイプ戦闘の平和提言を受諾し得

一つの関策に對する開權

第一十一章

和確立委員會や國際警察軍創設

獨回答に對する覺書領

とを強調したものである

粉々(三)

花 治

畵 作

発表学を大学・大部・上大部・上大部・

(89)

りでことへ来て

いらう、どんなに絶望的な毛後を

すでに刻々といろ!(心臓が

なる形式において質励されるかは、

どこか安らかな所において、心か ら名残りを惜みたいと考へてこと

就て、上人の内

日の間でも、顧問は、

上人の身を

れ迄のわづかな 造流の日はまだ

ST LANNING

意外な事實! 始めて公けにされた

・ 生を見よ!! 不可解な女の一

同じやうに答へた優、 刚手をつ

参嗣長その他も脱続のまくで行く異側で行はれぞれまでは東司令官

すること、なつた、なほ駐屯車の

え申さら!

注目すべく、従って今後の關心事は蘇ランドの向音組何にいて著し意影響をうけること

なつてゐるとのとで、たとこの場合脈の軍事行動はポ はルーマニア・チェコスロバキアを通じて行ふことに 合は軍需品の輸出を行ふこと、蘇が佛を援助する場合

行動の自由を留保する旨整明した 失敗に闘する場合イギリスは今萬一十二人委員前の和平の努力 即利和平交渉開始の必要を力能し

と解へられる、委戦層は討論の結

エテオピア外相へルイ氏よりアガ

近く官制改正に着手

育、首金融源することに決定 **物質の像草の進過を吹つて耐** 

田次郎氏、誠淵末定城灣條所

九日本耐へ人電があつた 今議館に提出すること、なつた官

今議會提案決定

米穀自治管理案

三輪和三郎氏(元山磐渓署長)「一輪和三郎氏(元山磐渓署長)

**関防飛行機献納會副會長)同上文阻琦氏(慶商北道會議員朝鮮検渉のため九日本社來筋** 宇垣總督東上

機率何、新内閣への接続その

途中釜山に一泊。東京へ向ふはず

赤貨域を見る客であったが、二・ 唐軍響光の無党を昭和十一年度両『亀軍郷光賞現は六月中がまで延帰等の如く側には先し1月中にこれ 暦に輕捷504よたので、隣市では結「淵事作数より演用する職職上石跡、

局等の機構に强化満元十るとは既

八月まで延期

恒站

臭い!~といつてゐたら、

支黄

物具を省けた蘇 宛らされた 郷曽 **じことが出來** 

の門から抱へ出 できたる さうし 上人の趣味の) 偏家の人々も

でのうちで思った 一般的へ) - 事態以来、ど 何がの事に慌し つた事なので、 それも心

さればしなさに基 さへ對してのは、 数居中の上人へ

を には、数十篇の大調 調整は実部五月調 調整は実部五月調 演藝霊真グラフ 特別抗込附錄

のはらさへおゆる お総じには 表發に號 かもその彼女にもひにかに放縦と邪獣の結晶、深族 

おおことは、大金銭の優死を続うて、 選びて事る役者と裏場して、 とれて 驱 夏量 語網 一流病院長

時、阿彌陀ケ船出直した。そし いのへて、織閣 話美大五の判評大處る到

材のましである 一般日にあたる

は大きずる

・ あり、冬然で中生的。 ・ き思出ので、好き的な多く。これ、一般はないののではいまってではな多く。これ、一般は悪しいで、一般は悪しいで、一般は悪しているり、結婚ロマンス

変しらる恐るべき状態にある。 へ、国境の要強に職路展開を完了

師團

一強固陣営を誇る

連る工業

ざした彼の賢明なほくそ笑んだ婆理由はさらになく、一石三島を組 の熊軍備、歐洲の不安な演勢から ころことを思へば北畿に懸ったる

うた。

設備はすつかり出來上り

な宅ェ航行の船と

8個を役じて無電機能設備一式を一機能の副野と共に航行中の簡船と

乞食の巢が倒れ

往來でも二人雨中に死亡す

〇機は部塔の腹壁を出現不実行 のため砦下職隊長器指揮の下に〇一十一日まで九日間日頭航法回書

行第七職隊では四月十

飛行七聯隊が 日滿航法演習

春!命とりの大嵐

子四人を惨殺

自殺を企つ! 本店勤務を命ぜられた

六十九銀行東京支店長

宿りを棄ね、根やいうとしたが時」もなりず処力の平安カプエーで雨

**時折空食典の単になつてゐた** 天のため八日優難水震観ねよび九で、そのまゝになつてゐたもので 遊水下關間の關塵連添船は海上荒

天のため八日仪龍水硬便および九

日明確水資便とも映航した

の高内珠さんが非築中死亡したの ども不明、なほこの冬家は、同地

關麗連絡缺航

3通話寶施計版を払うることにな、サンプランシスコに向よ同船に遊、通話川痘の番尾で通話料金は一通 先づ日本戦船の秩父丸に工費六一信省工務局を田技師が未り込んで、結二、三十間位の見込みである

現代十二事中、 であづたが、東京との間に投資値テストを在よっ機能したので金融を開発でである。 東京との間に投資値である。 すること、なり八日での間を観波サンプランシスコに向き開催に避り、通常用途の費定で通話判金は一通。 した

~太平洋上の秩父丸とテスト

位の男が往來にばたり到れて死ん

は四月上のに質塊を期待されてあ。子(こ)を囲組で統領した上、自殺|命館出身である

白家の中にがん張つてゐる中、露 ヨロノーと歩いてゐた四十五六散 (は雨にぬれるのがいやさに揺れ 間に頃、鴟崎町でも風雨の中をと

手の出郷度を期月後の即開が譲り、と、たが同路政が起されてから山北護を超ったのを来男一次郎が膨起、ためには北京が起されてから山北護を超ったのを来男一次郎が膨起、

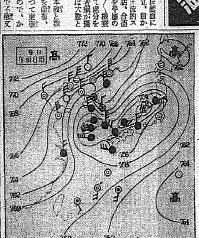
八日は平路通り出館し、午一かなりの雨餅で生命位馬

**撃金も支縁を生じ突山が選手一人。都緊長隊市に在り頭取は緩尾線之。闖ったは永兵)氏は古川病壁に撤化ら組かいつた縁既に当手をみた。「餓死した、六十九難行の本版は第「【東京電話】家様を数字し自復を** 原洲に派遣しても骨折撃くして技。助氏で、後本は七日本国語を命せ、ぎ込まれ郷金手書中であつたが、 【更京武器】宋成之设工上自我》 淺木氏危篤

去る四日明京談道安城都蔽陽而馬。も同日同樣な文句で二千圓を請求。結果、安城郡你撒里鄭坤模(三]同 奇怪な脅迫狀 してある事が触り、假然緊張し、 面馬山里甲完全に下の現行と解明 犯人遂に發見さる

級重度調べの結果八日次の如き罪 結前の能派は一綱打器に機跳され 般民業をまどはしてゐたが去る 十和鄭響承は明治廿八年5年明した 行な宗教重似開鍵を開立して 日忠北登祭部に破主以下 **東級電の再建工作に狂奔、さら「概人の宏及い實弟、その峻極事五 水雲数々半率性景の門別となり「振乏地数押礼した後一聴に破壊、 が解散したので京城西大門外の「振乏地数押礼した後一聴に破壊、** の時東県策に入業、その後個策「影等の臓かすことの出来は規則器」 進めてゐる

入りの既布を拾つて龍山野へ配けて明世の最上的中の西界町で四百個 れた、しかも落し主の高陽郡思平 出た正直連続手のお脳で死ならと が九日朝龍山潜で附布を受け取りの回のさる標末所の服人即道籍さん まで思った落し上の使用人が数は 拾ひ主



たことから登河後走した県震視人 題つたとこのを特代せてるた際路面の宇里で許春線(m)を整理 七時京城北海町一二六柳駅方へ正統縣面の宇里で許春線(m)を整理 城府内に耐入した檸檬で京畿道形。斯、行の似行を自日した同里二二〇労働者の照成で記述は、著校尾、金剛副者が祝聞のらへ建

がゆるみ

皿液の淨化で

消る

倒して電腦を切断、通信不能とな 時中ごろ松麗線型橋、春陽間の賦」をした、といふのは形状がその様に微観響成中であつたが九日年間五。おなたほ? 』とお互に 高外な領地鑑賞者の側所あり、鑑賞局では「タッシー栄命配為に含ふと言おや「地震政略の側所あり、鑑賞局では「タッシー栄命配為に含ふと言おや 戦路上に墜落レール三本をへし曲 のなおった時に西界町へ変せて数 ながら長さ三メートル蘇の大岩が一角を拾った時に西界町へ変せて数 方面は一朝日來の降雨のため 線路に大石

看護婦生

証

お土産事門

ツブウオッチ會社製

医所 店

京城本町二丁目

ネツクス・

る。事を締め、强力な血液学化物 博士 の保護で血液が海つて環境が悪い へ行くか手紙にの設まで血液が海つて環境が悪い へ行くか手紙に 大阪音泉像 巨

意意依

太助議急病ニテ四月九日午前零時

岩谷冷藏林 大會社

時四軒町静山別院ニ於テ供式ニ以御通知二代謹告仕候

**繁晴らしい血液が化劑。を設した療法を能調到切に数へらる。即即に努力し、途にがない電池が化剤が、中を臨め、強力な直接が化剤がは、の酸い質師避過に逃ぎ、能気に選ぶので直液を深化せ始治(相し速に、全株を計られよ)** 

的節節院看後年近成所では解釈生 全般天氣豫報

つたさらだ、甘園を謝糖金に運動 はあれがなければ死ぬつもりで

ウオツチ

壹千個ニ限ッ特價提供

クロム側無地十七型

思増北一西の風後には明 北 北方年 始めは曇っ 塩 留の風 が後には暗む 四乃至 始めは暑で 北(西の風 量ったり

若干名を募集す願書締切は四月廿

|記蔵北||西の風 分割の有数階北||北乃至 始めは豊 部門原(の風)が後には、 が後には、 が後には、

雲林教と稱する不審の一派

不穩計畫の發見す

九日朝の概況

落し主と

原 低二度 り階【明日】北西圏

ましく勢揃ひ:何卒御 **尚武のお節句近づく…見るからに勇** 軍國の春… ・・・大空高く翻る鯛幟 清觀御恩命を

お花見衣 特撰お花見用

風お花見 を流行の ショールと洋傘 賣出し

ハンドバッグとお花見草履 陳列 (興/ボスター研究會 第一回作品

後級 朝鮮 總督府 鐵道局 ギャラット ルベ勝ポスター展

圆均

5 1 也員四拾貳金價特

無 伊 平田 百貨店 

(K) 二越京城支店 (K) 東城本川一丁目

五

<u>ルーホ階</u>

軍の命令と僞つて

CONTRACTOR OF THE PROPERTY OF 御送附可申上帳 也閩家拾貳金價特

吹き倒された家と二人惨死の現場

城署員が探知調べると、意外にも

に属す』との高怪な郵便一通が輝

で持つて来ておけ、この命令に最

込んだ、申氏はあまりにも不可解

個を十三日午後七時五十分までに

郷の命令状』として『軍資金五千

警員を實際し犯人捜査につとめた。八日夜期を機器目下取調中である。

短波兼用ラデオは

山里高紫中姓美で一方へ『軍司令

專賣局

の参考館

と即後して御職者財靈祭、馬鹿寶一蔵賢することになつた 記念式や記念煙草その他計畫

流行の新柄を墨南に取揃へ……陳列寅出し 大震大賣出し

三階

階一

· 衛 仕 立 代

最新入荷の新柄豐富陳列 期日中御買上品に限る

一六尺の石垣が雨の貫め側返したの一

ノー七四州貞淑氏方則の高さ町十

の通りゲルベダルテ級の、『かをある、更に記念道章としては既報 ある。更に記念理点 日を『専門局デー』とする問題で レコード吹きこみ学全解的にこの 安井局長がラジオで事業総代、同じ質品の作製になる映画の一般公開

と した概念がなかつた 製工の後次は下水不充分のためで、

京城永管浦町新村五三九の六十五

が市場に摂れてゐる、この受信機 と種し短波をも聴取し得る受回機

は臨取無線電話用受信機として許

水復舊す 永登浦の浸

発展 ステススサビ 転題

らない。

ある者は急いで適當のものに改置

こと判断、九日慰太平道派出所員を成領した外オーバーを窃取した際目轉車店に厳はれ中三百五十国

元山芳也(Tim)は黄金町二丁目伊 泥棒御用 京城優井町一八

か、近時 オールウエイヴ 受信機

ものたることと想定せられてゐるの範圍内の波長に駆り即取し得る

相當威分せられることしなるが、

もし知らずにその受信設備をして

たり無線電伝法第十六條によって

収送を糖取し得られる構造のもの

すの愛信儀は現在各政党局の一に取締ること、なつてゐるので、一間限した、西大門等では石垣工事

オールウエイヴ受信機不許可

これを備付けるものは規則違反と一の調算者を召喚して修出した

遞信局に屆け出よ

五百四十五メートルより二百米

**兄城に潜入を發見** 

化、半身不臓感 ふるひ 舌眠、瘍み 腫れ 

親切叮嚀

料理化,資 ▲出張調理モ致シマス▲一品ニ モ配達 速

**滿場一致**で

役員を推選

平壤商議初總會に

麗はしき情景點出

(平塩) 不速 | を見たが、剛 館頭の露頭代理脚 | (平塩) 不速 | を見たが、剛 館頭の露頭代理脚

五十五分から「愛之助、李幽甲、郷斗衆の三氏は一八日午後一時」定した、動評監査委員三台は協攻、「日午後一時」でした、動評監査委員三台は協攻

選挙に當つては校証量設度起って

を助うれ脚紀大鷹行詞の小作人人、郭蘭敬認の派師が特にたうとして、地志であらか、このほと語跡都顧、概を開助する等、地志町小作人の地志である。地志町小作人の北京の小作人には代金半

観、河頭館の兄弟は所外経域郡末。り無利子で貸付げることを印出た「大郎」閩南昌昭島内の経際河駿 して大饗日石を向ふ五ケ年間に正

いで心臓しきつたよ

大時には大センチ師八時には時半ころから本路りとなり耐 日は顔からチラついて午後二

西部、南蘇地方は雨であるの して北部一帯は曇り、中鮮、 測院所は打砂してある、しか センチ内外の確認であらうと ので朝まで慥つても十五、六 一一で、どんく、消えて行く 十二センチも積つたが準節は

つた艦艇で派遣が降下し雪と近に遅し、山麓などに突き當 海の冷たい海を渡つて元山附 リア方面の高温路の失端が北 は過子江州立の低温能が資海

題がないと珍しがつてゐる

極めた天然度流行の際同部落から

にあつては過酸度地三郡に指数を

溫和面美舉

機能は個滑を缺ぎ楽蔵は暴がら、窓勘の含を見般的に現はすべく金ふた時にはその任期中電蔵所の一にあるものとして「同窓蓋しこの

奇特な地主

るしです」と木組に納めて持ち込

さすがの古恨さんもおそる

農糧を無利息で貸付け

金肥の半額を補助

舞はれることの少ない威災に 世界を現出した。例年雪に見せいチと降り積り時ならぬ銀

鐵路通行は危険

少年跳ね飛ばされ

登校の途中で重傷

\*吐き散らし代金を拂はのので交 東菜海雲整温泉の高麗と紹介を樹

きで間に合はどるため編纂中であ 威北領城郡悟村画城南河の屠楊で

総死を遂げてゐるのを通行人が翻

春を訪ねて殺到する観光駅に大急

二歳後藤(\*゚)は六日午後六時頃・「建南」咸興府外西上里八一ノ一

爺さん縊死

に敗国のため脱茂自殺したものと 同法院では申立辺下の旨、「戦失を夏間け出た、間人は衝滅に加ふる 取得の申立をなしたが、このほど

下すに至った、なほ思北道内では

悪條件の一つに加へられ、この刺

べ

L

11

丸

海

外

飛 0

躍

殿地令を間に取つて地主。快を下したものである

冝寧の放火

嫌はれた隣の娘が

恨み晴らしの仕業

すばらしい放れ業を公開 防空思想の涵養に努める

# はした事物は清州智で収調で中の を印刷し鉱山府の全覧を白刷し

飛六記念式の計畫

釜山案內

觀光協會で

編纂を急ぐ

不都合な 悪小作人に大鐵槌

非常時の折例軍民一致の質をあげ、を懸行する外、程牒機による編隊、第めることにした

壯烈な 爆弾投下 爆撃隊員が腕を撫して待つ

**作出類と共に活用法院支給援事分 知られる全海の据洛王陵、洛東江** 

た島敞園と郊外の名所海郷として

成は京城府等井町一二

【清州】清州郡江内館陵仁里本殿、鳳間から河殿海氏が買收し鷹に小、地を軸貸し座に伊路森なる麓に同

調停の判定を認

河豊澤氏。作人媧原を調べたところ李俊成の一土地を柳貸したことを情識して誤

南に旅はれるのを記み次人の留守 - 鐵城郡朱南面南冲洞李級帝方で耐寒の慰衷に駆ったが小薬立一 | 隆青をやり、本年二月廿六日或北

中のところ、この配収人は党外に「歳の時からト数年に宜り制量で、「焼の時からト数年に宜り制量で、「焼の時でてなり配納の結果」「乗馬商協商監方と「損を登城した」「局こと金城座」こといひ懐中に「乗馬商協商監方と「損を登城した」

不在中欧維場から出火し隣家の一成南盟山北大南面長波里野鼬金

釜山】去月廿四日午後六時廿分 | 五日朱乙縣構内をうろ

设南官院那官院面中洞金一南方

る男を同地能在所以が機能すると

かつた小パンフレット「釜山絵内」 盤の往来激題に鑑み從米売繭しな

「釜山」観光協館では『近観光閣

午前八時から午後四時まで十五キ 協戯中隊は腕をなで、常日を待つ **食を開催することに決定、嗣日は して探點されるもので第二、三の | 八方手を題して行方型電中** から同僚爆撃場において爆撃競技なほ様彼は一日一回電車員が評査 「平均」飛六腕隊では來る十七日 。質騰應が質脆されるものである | 借金三百圃を踏み倒して四日、突 質燥弾を投下するもので急降下 である 全國大會に出場 物凄い爆撃競技會 然変を晦ましたので大脳さとなり 移民を瞞着

【平集】来の五月初の運転流行第一朝各情ヶ庭殿、大万流、南山を選 精鋭すぐる特別演習に 飛六の鐵鷺機参加

爆撃隊より選扱して經療大像を派して議魔第十九節隊置下步兵砲兵」、「発」」、「大会を渡したが、奥に柳霞 行されるが飛六よりは第二、三綱(るが、陰寧、羅南、威奥を中心と)金(よ)が一萬百圓で開発影響を結び終れ、1997~1917年 1917年 19 「最後機能場で主切が石炭豊穣の一丁小瀬に水米、同安一街、十八日 | 特別媒態演習が器 | 早朝不実践、稲南に赴く度定であ 量として北壁の地に世熟せしむべ く野外的個演習を行ふものである 部隊との聯合演習を兼ね至申勤務 **参密へ邸け出たので手配度金申** した、被害器河合は六日重いて除 中、知人の同都光道面作林里劉野 してが引七千三十七個を作敗逃走

式債祭機四艘は來る十七日早 航砲連合演習

東滿にる春一延吉公園風景

【清州】本ビル、グリル女船、笹

【**平期**】各務ヶ原が行第二職隊の

山府生れ関子こと宗正祖(一一)は前一巻「た」が同里裏山で落葉珠集中、

女給雲隱れ

時等清州即北二面鐵下里居住下面 【满州】旣報、去月廿三日午後四 逆恨み泥棒送局

【七川】水井府野は六日の府館

懇談將來の仁川は面工都市として 観點被曹で且尾鼎敗西につき船を 「観光仁川」の生命も記却するこ

に、最の如く埋棄により點の隔越直路 一九山 に大九 地大 元山三名文川三名、津五名でうちて、る野である、しかして月彫點に出 一一一一一大九 地大 元山三名文川三名、北西谷の 神田寺の町洪山渓(元)は同帯と総定 山南空町洪山渓(元)は同帯と総定 山南空町洪山渓(元)は同帯と総定 は関する建設に解離された。 月

花の代りに忘れ雪

**兀山に十數センチ積り** 

測候所の新記録

開は夕利六時に至つて事と壁成則はまだ雪だ―八日午後の

「咸興】 春もさなかといふに

**咸興でも雪** 

り、またゝく間に二 サンチ・三

を張つて中部に建した頃シベ に元山地近だけが雲であるの を新設し、繁華町をつくる外、か「【阪製】嚴電適内の流行炫闘脊髄(二名死亡 府議懇談會で意見一

八年官選道議となり又中區院参同氏は安東部の名家に生れ昭和

個月五日の一大 ニセンチがあ って確認をみたのは大正六年 総のため起工した省界正の大京水の変として平域級兵隊を通じて軍業・年度から十ケ年記ので派水域域版「十二、鎌を隊たので領非原安部末、年度から十ケ年記ので派水域域版「七十二銭を隊たので領非原安部末、日本 事業は第一年度分は像定通り連携 國部にこの職歌金した で初年度に行はれず延期されてゐ したが工事の起上式は個々の關係

◆……【讀】遊戲

神師技術の様で、時に神經術や場合

別による大能化工作の削途を観船 が思想の事及宣傳に第むべくその 「月下の職大な起」工式を進行し砂 ると共に事業の完成を弱り父愛

なほん日は雨となり衝次回図 のが今回のは新記録であると

【平學】 午南原途郡沿和面川陽里 の電影形って昨冬手に入れた頃か ならなかつた小さな古動画が年来 ・・ところが本期老が欲しくて 院中六十五で蛋目し の本間省三さんとい 心に骨を振つたが水一分治原すれば、膨人不具とならず あった祖里コガロ門 が孤垣の老崎師歴史 生則から親交の 能里の面間関院に入 で死亡するといふ風であります。 とれる記憶力の報題、得意力の観光として場 然に膨伸的は、遺脈観察にも、後ので、却つて病勢を地ず事となり 乏、道徳観念の成選等の時に、元 言を来たし、途に紫龍跡内を起しがに帰るとか、膀胱や直唇にも縁 に済むが、多くは治原を中絶する 前先を起し、胃臓を出し、胃腹腫

は一名の配物語も出さなかつたこ。◆……これをみた古賢さん徐珍し とは一に抵断者局の施設よろしき て急勤には関打つて資めもぎつた にあるものとして一個歌歌しこの ものださらな らの病みつき、その古的瞳は淋し 残す事となります。 天師形にも此る質別配ゆる、特に 高めに、低は子の路めに、 治原の 無底を用さればなりません。 天知間の指導感染は、後兆は海を から、父は母の

海外への雄飛

**◇受取つてはみたが縁起をかつ**響か続りとする場であります。 んだのが気めた滑あたりの古多種たっペルツ丸の海外雄飛は、歌歌 爬液の部分、針片で観影器の個外思音にも、ベルタ丸の温服はまづ の聖費さを製品でもので、本社の に海外への輸出が減増して来まし 前述の如き、極道中の最も思想 丸は一種近極

のウェチス、臨迷の皮膚側 を特別十二酸・代引十五。 を特別十二酸・代引十五。 を特別十二酸・代引十五。 を特別十二酸・代引十五。 際、脳神群、直閉神社、リ

發賣元 給木日本製藥 社

**製造の除去だど、見て喧嘩時雨戦を一頭前代車店「京城市…対井・木村・窓山町…大黒・藤田加生と投職力、不良なる新陳代謝」** 

他の至る處に好理を博し、他の至る處に好理を博し、心力の名は内として、ベルフ丸の名は内服薬 有餘年、益々出じム益ム雄

がッちりと踏破しつくあり なむ。ベルツ丸の横外飛躍ないで、 野に正しき軌道をもいて、 野の蔵僧を物語る 止しさものは正しき軌道を 年々その韓出額を増加

**ツ丸の閾値を知られよ。** 何事も健験、先づ以てベル

番中

0

脊髓療はなぜ危険か 兆候は關節炎や神經痛の症狀

| 関支道に曳かれて厳重混総の上線| の某初等壁板男女放鍋の密熱恐襲| 二年を実施した、関決書きしは十二く建版なく確つて銀作能力なきに関するに関すて厳重と記さいたり、ら登解法院標本裁判はと日午前十時か と申立てたが厳事は腹張辿り際位、漢は師見:十一日、李は読事にないことは、「のので題に七日午)事性の整部公判に七日午前十時か」と申立てたが厳事は腹張辿り際で、違いは「よっ十一日、李は読事にないますが、「のので選にいたり、らないとは、「ののではなべめたのに對しばる」ということによった。 町横盆岬おでん部で直を飲んだ跡。【大邱】長崎縣等松浦北安田島村町横盆岬はで、遊文句を吐き生が「生れ虚水西西面大四三白正輔(ほう)町姿番に曳かれて巌東遺跡の土澤。の実初等曳技男な密紋の影響烈場である。

開田尚吉には去る三月佐羅南本

「羅南」でい文句を加べて飲み贈

一語維斯北星町四五料理人

ロハ飲み凄文句

密會教員を恐喝

七百五十回も稼いだ男

小作人を展動して該土地所在地五上河島湾氏は土地の管理職僚上、 貸してあることが報明したため地

服を稱へ直に公州地方法院に懈定一

僞醫者御用 [編] Holive

慶南近海に

しきりに横行

智異山丸八方に活動

撤連撤船でアナコを両温してゐる 海郡大入島市東山石松(g/)が運動 中間島北方五池の海上で大分縣南 資を越足師六日釜山夜の島南方の

商漁中を取押へ何れる漁業施及で海丸(一八種)四隻が繋正馬娘で 

繁華街をつくり周廻道路新設

委員を設け具體的計畫を進む

健康値に則似する事が目来ます。

年館源所論致として功寵少からざ (鷺属は有金、左古莊の南副會の古莊仁太郎民を推してこれ亦丽 頭) といふ意味のことを述べた

版相するのは、 其の治療法に納路 運に観念が内攻して、五臘の諸内 船温な治院のため、病務を割出し ※初に極応的治療を心せば、段階 なあるからで、例へば軽怪等も、 それを転換し

梅毒性の脊髓と

好事の 富美子

梅毒と順見書

梅毒性吹出物に



AND WISHING 橋衛, 鐵湖, 鐵湖, 橋坦, しつ戦、ひえ戦、吐きする

接着東京四五番・閩語家場八十番・九十歩

今日では、之等の概版も、沖砕」 云:刺りて、スルク光泉肝炎の淤、動而光、動腔硬化、亜番等態で概率迅等であるが、関腺の減少した。を助け、産獣を強め、肌症を増すと、闘性帯、脊髄炎、コム順、神経病 存頭労、内臓帰衛、性面保部、 版 し が相果を及ぼし、特に消じ機能 | 時海、吹出物、ニキビ、遺跡保修型 | 別権形改とに来る、製炸税(液を) 質の配音は勿論、消が内臓に著し | 股税所、健康、鎮源、経度、皮が減水、特に治療を関するのは | 撤離決魔さしむる | 面、全身的盤 | は、必ず最後の影響を指きます。

育髓粉、内臓瓶形

极

を問はず、一度問題の侵入を被れ一良難である事を附置坂します。 その発果の程を異ひ得られます。一ず、好かあるベルツ丸に吹り、 能器の危険は、脳製器と観解者 して限用し得る、真に効果を終る 薬質低暖孔ゆる階級の人が、安心 西の前的を触行あれ、心も本側は

最善の治療法

病に

として他に毀却せんと批批し概念未開發額五千六十二回を一時振い 四町七丈を年賦領国で資別を受け 河合政吉(三)は大正十四年から番

番四町歩を 賣つて逃走

おでんで過を飲みこしても改文句

京前の下に開発されたが被告は

野鷹型幅 出したから受取ったまでだ。 | 極の側定を求めたのに到し研奏政部型編 出したからでなく先方から進んで、州部小作委員館に持ち出して小作版を興へたい意思を したがらでなく先方から進んで、州部小作委員館に持ち出して小作版を興へたい意思を

取締断智列山丸が巨路島神を断成

洛東江の大治水 然るに之祭の悪性権法が、年々

慶北で準備を進む

今月下旬に起工式

存職際の如きも、数年間は難い

危険な脊髓癆

(第一信) 御送順下さいましたお薬、毎日服用致し居り候庭、日々快方に向ひ、今におれた概に架しく日本送り居り候。 此の分にては、水年の風ひも快趣であるのと春じ候、代は、御安心・巨く起せ、人名の御屋とも考へ、横力お脚め致し度くと存に居り修。 地の分にては感心の外之無く、今後は阻極者にも、貴雄・一、の御屋とも考へ、横力お脚め致し度くと存に居り修。 まずが、深分も負別の割すもよく、ベルフルのお底で、脊髄の痛みも、対が、深分も負別の割すもよく、ベルフルのお底で、脊髄の痛みも、対が、深分も負別の割すもよく、ベルフルのお底で、脊髄の痛みも、対が、深分も負別の割する大陸、ことがとまった。

現代の生き動いてゐる生活を

活の必要から生れてくるのですか

たへず流行の動きに注意す」り懸まつてきます。

微山の色を同時に身につけるこ

何はか一断へ中心時をつけ

貴女の洋装はこの條件に叶ひますか

銀艄とは誰しも知る通り頭の縮む「痛がするし、且つ各艦の総病にはを 厭へる人が 翗いので あります | ます。即ち | 寸風邪を惹いても霊

ます。即ち一寸風邪を惹いても頭

万至飲命など、置に数へきれい程

像てから身體の強くないつまり弱

の異常を転しないのでありますが 目の時機に際しても、身間に何等

せて極るといふ人がよくあるので

不仮敷右衛門は、これまで國語

世にも不思議な 不破數在門5

ひであつたかと思うたが 悟道軒圓玉演

も腑に落ちぬ顔をして主人大石の

は、此の自然界の現象に駆逐し得 々した自己調節機能の不完全な人

ともあり中には卒団するもの言へ

あつてそういい場合顔を見ると赤 が重く話だしきはめまひがするこ に血が上るやうな気持ちがして頭 あります。即ち何んとなく頭の方

い色をしてをり、交流みに眼瞼を一後、さて以前我が家來に不破数石。日壽る約束であつた、丁熞にこち

旗門と云ふ都があつた。昨年仔細「らへ通せい

明石浪人の盤にして敗めて呂抱の「きを多用のまく失念故したが、今

時に何遠までも多田嶽兵衛と云ふープノ五様か、其方へ申し置くべ

内匠頭の削へ大石が伴れて参った めであつたから、在府即ち江戸誌

めの人は顔を知らない。それゆる

いて頭がなどを起すことになる認

に際山ありますが、墓にいふこの 神経痛や耳鼻の疾患、眼病、中産

脱因たる疾病の認むべきものがな 春先きの頭痛は、斯様なる明確な

かくなつて、化を述べた表光きに

頭痛は、臓の脈涎が膜の腹端、深、(を)して見るとぶだんよりも苦しであります、尤もかういよ態類の 腹腔して見るとぶだんよりも苦し

1017年1日 他つて館」して様々の拷示祭に神経度弱症やむやみと頭の方に上り、他つて館」して様々の拷示祭に神経度弱症や 即も、美上紙とは身橋中の「順談」、「ボーコ」を表して置くと前天角思 は同時に所置ノボセ」(学

であります。こういふ頭痛や一人 て所謂場解を立てしゐるといふ風 に主として脳の光皿の結果であつ

元 げた頭からは汗が流れ出

動功ある武士であるに依つて、家一郎大きに赤面殺しました。と申し

あつて家が絶へて居る、如何にも「畏まりました、就きましては手

そしてからいと場合には多く

面や頭部乃至は耳朶は赤く熱くな

り、これに反して手足の先きは却

ありますから棚い内に適當の手當

「ヒステリー」等に進み弱いので

るので、歴まり人間は一個で、名 門に成つてはくれまいかと言はれ

名跡を相暇いたし、二代目数右衛 すので

アン左線か、それは採石衛門無

ば、共方今日より不健康右衛門の一不健康に難く似てお在でなさいま 名を絶やすも残念であることなれ。ますは昨年御手前に相成りました によく頭痛やアポセ』(並上症)ないものはこれぞと云ふ脈因なし

操てから除り身體の强壮で

のは老くの場合は一つの獨立した。んど無いといつてもよい位で交響ことでありますがこの頭旗なるも、多少とも頭痛のしないものは、殆

てゐる場合

春先きの頃になると朝祀の頭痛と が、然るに此の木の芽の萠へ出る 鼻の病乳からもくれば其の外色を

同じやうにこれぞという確實なる

先きのやうな領族の極り

建

義氏

談

際せんとする自己防衛の手段であ

といふ有機能が自然界の現象に適で、これはとりも直ざ了我々人間 らの植物性機能の態化を来すもの

質傷病の場合にも起り、眼の病、

病

間の身體は四季の深族の態化に伊

|に暗鏡した容勝の一つなのであり||他

スマ

ートになるモダ

既行のとり入れ方ですそこに貴女

吃度負女に倒合いません嫌ひな色 どんな流行色でも、お嫌いな色は は身にこなし触いからです

こんな場合、帽子と靴とを備ひ8 お願ひの洋族はゆめお召し そこへ赤いハンドバッグを抱った洋墨の鍵は、案外こんな細かい ところでございます。

になられこと

我がゆく底の遠さを思ふ

れない私、殊に、鳥質能なものが好きなの **素様ですが、からした、雰幽窻になじみ切** で、こゝの場面を詠んだのが少いのです 身體が膨れて歌に壓める気分になら ない時は、後て好きだつた彼水の歌 果などを避んでゐます

る父親や、女學校當時をい追想して、

英子さんの『君江』さんは、鑑賞する十分

ても淋しい私なのです。

4緒とい私なのです。、蚊頭したい・もつも歌らしい。ものが出来ない今日、と

一作りたいのですけれど、とても仕事



笑つて蜀逃語を敬へてゐ

んさ子英野狩

一色叉はせいかく三色以上

えたとしたら如何でございませう! 当の服を着て、黒い靴、緑の痘

の色にするとか、帽子とハンドバ

ドレスは勿論、前子から靴、おま一

活戦線の、大きなショックで、此處へ來 さらして世情人情の去裏に、直接觸れ

初めて知つた總でのことは詐欺の好い

第に入らぬ客は、限をつぶりを日

二人春しで不自由なくみすず的高女等業後世親に逝れて父継との の作家殺野英子さんは、京城第一

うに、もつとせつせと側合いのも のをお探しになること。スマート

骨の折れたり戸耶のこはれた

が假んで永保ちしません

圧追はれてそんな領持の限はないのです

るんだ、との喉がほべられるやうになつた類を見せなくなると『鬼ビル』に聞いてる その医子さんが、昨年あたりから、歌館に 五以 楽器 加してゐたのでした





題の低いスポーツ風の靴をおけき

こと パックル (留金の類) や顔 せ、その他ハンドバッグ等の排物 になるなど、どうかと思びますね 財産品に細心の注意を呼ぶ、タマラナイことがありますかっ お願うで、

るのを時間見かけますが、こんな 何時間(まちか)時間も行たせち 貴女の御主人やお友達が、たと お出かけの時は急がない

場合でも、無腊に急いで支度をな になるでせうから)得たれる様な

歩く時には一つの姿勢が要

すつちやいけません

**佐自員の好みが、何極かへすつと** 流行のお尻を辿っかけ難して、負 になることです

のをスポー ティ (散歩 風) なも ブレイン (龍純) な形のドレスだ たとへば、白つぼいお召物に赤い 一點に、跳歌館な中心點をおつけ ベルトでいき締めるとか、割合に

トクトクと賦を歩いて +0 緑物のある時はその抱へ下合 洋医は者こなしが第

音等の 筋運を 入れて概を はりま ザがピツタリ合ふように宜て合せ で上方から歌を捲きとつときない 示みをなほし、歪みが元に見らな にとれます、次に揺に離子のカマ よう、三四ヶ所は狙手の間に杉 つかりはの子障

に約二分諸後東田して毛坂さに除 みず気は上塚に後期上鬼陸神四つ後し、布山にてよく水氣を踏も酢 鬼襲神三号にて地の語るまで察込 置き器し御飯を結込み指より取出。草布音をもみかけグリンピースへ 之を一方は弦、一方は身と組合せ一す、すし細版に之等を混ぜ合せ透 元分に骨を扱き去り、これを二枚 にて地の結るまでが込み、後雨方 す)して約二時間置き、サフト水 十分水煮し、椎毒は十鬼に砂糖 り聽(皮の方のみバラリとふりま『干瓢も物』、時間水に海南方共物』 位)を三枚におろし前後を去りて 腕より水に受し取出して艪を去り に飽了し、陸の方を二ヶ割とし、| 共取出して小さく聴すして置きま (雀壽し)小歸、(然五寸 | 一郎丁葉します(若し雅のなき | 一度認識を進したるもの)金糸玉 (散らし壽し)権がは明

時は睛の様才しの如く布庇にて数。一子、小鷦、海老、三つ葉(湯した

たが、其底を承知されて翌日を行間が数あること、思ふ 門は衣服大小も立派に致して大石一門は再び出て來たが、 ち受けて居られた。さて、数右衛 内匠頭は可笑しきことに思はれ 申すくらゐだから、同じやうな人

内蔵助は澄まして居る、孫右衛

|五・年||人、此人は江戸國交代で始一部、工大石の間に出で『昨日は先と出て誇ったは澎港旅石帳門と 提げ、案件に縋って次の間へ刀を 終内臓助の供をして居るから、敷 手部となって聴世に在る話のないとヒョイと顔を見ると、他に御 『何れからお出でになりました』 右衛門を知つてゐる。 『お荷たせ致しました、どうぞこ

78

(空の巻)製 吉本三平

れぞ敷右衛門が自慢の井上電布 る高の差し置いた刀を見ると、こ に次の間に來た多田権兵衛と蔣す 不破敗右衛門其儘であるから密か いたが能くお出でになつた……コ 「イヤこれは、御約定は強して置 然し孫右衛門は見れば見るほど 他かに見発えのある品、

敷石衛門であるから、如何に武士

であらうと能りの意外に吃驚して

これは人人不酸様ではこざいま

ħ

等

又クファップ

一四語・一七三語 四月十四日

せんか……置下は昨年

……御手試に相成りま

したと。影りましたがし

州明石の浪士多田巌兵衛と申す、

「コレ何だ、其例で手を打つは

「初めて御意を得ます、手肌は活 と不審し常に問ふ言葉も聞えぬ

素振りを した 敷石衛門。

「付品景」は際のめ求買お ノすまひ願を定指御と が品景等五 ミ券號番窶抽に中凾キンイ ぬれ切竇 すまりおてつ入くなれ洩部全 をめ求買おで店具文の所近御にちう

上紙開新の旬中月六年—十和昭は表発鸛営 すまし去酸に店賣阪具女ントラフ國全び及

華鉛 ントラブ

代表製品 単年高ントラブ ブーヤシントラブ 堂陽太山中領本 部具文ントラブ町崎水區迷池市販大

参等 演等 萱等 特等 等 プ 双 Ŋ. ラ 型 ŀ 眼 寫 3 萬 - 4 mm 一個宛 - 4 mm 一個宛 - 4 mm - 個宛

選 機 一個宛 1、五二〇名様 一、〇八〇名様 一、〇八〇名様 一、〇八〇名様 一、〇八〇名様 一、〇八〇名様 一、〇八〇名様 上鏡 三機



→ では女代理店へ御 田、張川、青森、海湖、小塘 田、張川、青森、海湖、小塘 田、張川、青森、海河、小塘 四月五日

代理店 「朝鮮運送支店

\*内書流量 本社及代理店へ御生 郷シマス

嶋合汽船株式會計

プラトン萬年筆用インキを一個 (金参十銭)御買上毎に日常の必 (金参十銭)御買上毎に日常の必 で左記景品が當ります。 地籤番號券 はインキー個毎に で左記景品が當ります。 で左記景品が當ります。

大洩 氣 特

PLATON BLUE BLACK

PONTAL

北海道——北部線 北海道行 段、成、安、定組 段、成、安、定組

三月州一日 阿底延極支店

成津台机 代理店 北鮮 簡鉛組四月一日

『作月』、代地店 陶楽連雑支店三月卅一日

大家洋畵展を觀る

液情られ

五月

H

ビック・アップ

海 內 無 双

中間の大大道の大力を持ている。

月經調整と

和晶性「卵胞ホルモン劑」

月經寡少 月經不順

憂鬱症

注射液 育、至育、千、二萬、至茂、干五萬單位わり。 (五百單位) :10錠(1圓瓷) | 三寅(1圓光)) 粉末(二萬半千單位) | 10錠(1圓瓷) | 三寅(1圓光))

86-366(O)

汁 Ø 分

泌

不足にも賞用せらる

四肢冷感 視力減退 層凝り 發汗 递上 疲勞頭痛 耳鳴 腰痛 下腹痛

こんな時に

シンを

今日は一頭がほいボンヤリナる 讀書を裁縫が強され

提麥酒販賣抹式會社 京城出級所

ion in the second secon

宣等

接線。

(1) 等数数30-

末婚三統正督木卯原作矢倉点建監督

単筑器W主流 時々五十三次前後大會 着草映画劇場

141:0 B

の換に差上げますー

等出版所及 常出版所及 第出版所及 第出版所及 第出版所及 異金調點の方記集品が渋なく上ドするサクラビール面も共 平的景品を!

き贈物 人は短命

結核像に 衛生ほがらか歯磨呼吸器と

咲いた

お出かけ前にはお忘れなく唉いたよ!パツト唉いた

¥.35 .38 .55 1.20 2,00 3,00 AND STREET OF STREET

+

異論出で協議續行 緑は即行論

持つ殖銀

展を記者という。

国羽鮮郵船縣出帆

城事代型店 剪館典笠叉店 海本代理店 网络亚维安克 接受定 大阪平野町 昭 赤 高 度 全國有名文具・紙・百貨店にあり

□○□以 五五以移出玄米 二二以、白米一○

物細る



字垣總督東上 「この人京城際で」

一四百萬圓減少か

低利借替に依る負擔輕減の爲

三〇九元二〇

| 好不成主世第 | が別算されたが含めであつこ、

には時期切迫のため比較的少額

- 脚 | 駅間大便武者小路公共氏は昨年上

カドガン氏を迎へて

意見交換會や開催

有田大使も出席の

Now 武者小路大使語

ことは月獨面園の風情が鮮頂したぬこと、物質の缺乏してゐる、領土を持い關係を有してゐる、領土を持の意味もあるが特に文化的の深 日本と調道の順保は色を

特別議會後に

廣田首相歸京車中談

同時に無性所大臣の問題

二人委員會で

英佛の見解對立

一三次自は九日歩飛杏配。の人選について大久保

登され職盟和協力針を審議したが、「ゼネジア八日開盟」十三人委員

定解は低い空空に麹立を心し脅敵において、イーデッ代表との かりが はない て、イーデッ代表と

入側東北天津以下 | 和一点人型に午餐を火にし、終つ | 殊に選田内閣の自主機機能

三億九百萬圓

**奨動** 

分することと

松島、鹿夫

堀内 離介

來語二即

鮮台兩銀の

棚甲

唯ならぬ

春は酣

動脉硬化症を早く手當して

腦溢血中風

を防がれよ

高血壓とは百六十ミリ以上

血壓の動搖

なく、 服推師、 党級等の於順産であります、 次等の 教院観光観音、 解歴記述観音、 解歴記述観音、 解歴記述観音、 展際注明・ 中国・教授教から 置知にかけて 教二百 総大もあるといはれてる

學授敬諭 (六 機見可

北と示した場合をいひます、原因は智能は高、過ぎの比が示した場合をいひます、原即際は百六十・リリの影響です、原即際は百六十・リリの影響を持ちのです、常は平然せずにすて、おけての

人々の最も他筋のできぬ害の間であります。此時節に

夕刊後の市况

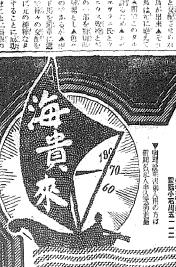
直變高層

月曜アルー 五人・七〇

壯年者頽齢者に告ぐ

感れてはなりません。 十熟語の観音戦り、那進龍低質の人士であることを十級決古の症間薬を襲いもので統に五十級非彼から十級時代観い 硫酸磨す の視摩は同十級艦の根報から大麻戦代観時

然純紀子スート智能能にある。 高二品明の職に高級域が開いた職、千二官総八十二職、施能二千四官総八二人職八大職、千二官総八十二職、施能二千四官総八二人職の金融である。 気管理る脈の信用ある智能等編成 1



場とし本色と

那を粉焼

サラニ氏とり

は死に絶るて

中蘇聯軍ゲベウ十四名が樊如不法

## 重任を果し

から當時の作品放送その他に等。 概との打台せを終く九日午後、 個野車司令那邊牌に自由軍力分配山山が低した。事性変態は 深堀参謀歸る

代料型の部庭

なと質しつ 高の歴生に成 能能した。

日本総設政政工 東京市本鄉馬菊坂町五十二番地

紀後生まで野

▲元來このw

あたが本その

問題が極的に完態した時は百六十ミリ珠上でありまし 男、窓が配接を巡りせて、駒脈蔵化を殺し、配差が墓(金)、桝岬の駅世、県畑の瀬野、樹蔵・野磯炎、勝原 し地時は関がこり、時代めまひがし、飢遇が地分なか、 たるのであります。 早く氣づいて下さい

### たり、のばせて魔が魔かつたり、或はダキン人と あります、昨年現べとある脳震脈も呼く知づいて験 、その聴いる意思な意度表を脈形して観音を懸る曝かたり、概々の心物な気がが観夢の上に現はれるのでたり、概ないでは、手配の短かシビンたり、感慨は取鳴が れば大概はいけるものであります。

4を假装敵國としての相互技能

の性質を描いるものなるに於て、 初であり、純然たる對日軍事同盟

**隠せられてあたロシア民族は、當他別顧の貸めに、その伸張力を押** て、南西アジアに於て、英國その **与風を要すべきである。由来音画** 

職事以前の日露の盧家的伸脳方向事となつて現れたのである、日露 事となって照れこうごう > 、 - ・ - 日本の力との力型的組織が日盛戦 に向ふ力と、これを支へんとする 程度成功したのである。この南方 手に、その倍國主義的企圖は相當 時最も晩弱であつた極果に對して 下軍川里下軍 三陟郡盧谷面

史生農村の雪

の聲野に

滅り

が、今例は二六時中和國の将氏は「C居る響可が即らなお与で生物」。 「このか、また別にはその力が海」の鮮中海東海岸を西に輝る六里山「鹿の雌立せらるゝや之が臘伽貫行」共の結果意識の破迹、自郷肥料の「氏の野力は貯木の戦年の上に知貫からうか、また別にはその力が海」の鮮中海東海岸を西に輝る六里山「鹿の雌立せらるゝや之が臘伽貫行」共の結果意識の破迹、自郷肥料の「氏の野力は貯木の戦年の上に知貫か、今例は二六時中和國の将氏は「C居る響可が即らなお与で、里地」「このかっ」とが職伽貫行」、東の結果意識の破迹、自郷肥料の「氏の野力は貯木の戦年の上に知貫からうか、また別にはその力が海」の鮮中海東海岸である。

られ、たとへ外域であるとはいへ、 ート政際に合流せんとする意思

明かに由華民國こり遊離してソヴ が、中華民国にとつては、さらに 滅に成心を襲すべき重大事である さらに大なる顕心事でなければな

の條約の成立は日本にとつて

章 全面产品。 全面产品产品。

型へ次手起き出でては悪蛇の変像 用を圖り其の心蛇自然短の脈行、窓に変現の十秒茶飯氏は深く之を として消費組合を設立して之が活窓に変現の十秒茶飯氏は深く之を として消費組合を設立して之が活路に敷した。 要へ変半起き出でては悪路の空除一変地の土根羊鍼氏はおく之を 体部落形生のほに誤ぐましき努力 外昨秋の堆肥の朝きは平均反當五

計選期の狀況

耀德面仁興里 咸南永興郡

| 次の上往時は歌道賭院を事とし民| 標の遊成に左の通の成果を取めたて居る認可が即も本部諸で地脉帯。たたのである。其の結果史生三目

東生の一途に自慰共働の歩みを阻

計整實施後の狀況

いか、これに對一ふことはいはれのないことです。

それではどんに風肉がありませ

そのちりについて、十九世紀の

曹丕はなぜ南 めに、空のいろが青くみえるとい | 小はありますが、たくさんのもり

それはかうなのです

此が、蘇蒙坦互援助源定書を建とかくの戦はあつたが、タス通 してゐるところより聚すれば、 蘇蒙議定書

> 線、磐崩世俗についた熊棒馴銑隊と珍らしさうに集まつた子供で高麗は海逸軍隊のラインランド非宗族地帯侵入によつて緊張せる 緊張せる佛東部國境線のこの頃

であります。大陽の道路に富る 日立つた昆を採つたものです、 大陽は天球を一ヶ月に一型轉致 しますから之等の足の間を一日 しますから之等のとの間を一日 しますからえ こうてもの たんしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう しゅうしゅう 二 十 八

か擴大されたのであり、また

行とすれば、外環は軍事的にソ

ニート政府の引配下に入つ り、ソヴエートの策能的

はれたのである。不九百三

で見ると季本土時代には支那 と、 意時の人達も大して重さる 一般エニューヨークで行はれたが呼るのよい様にして居去 ので家サウカレイの響品強質が をもがつたものを用ひたらし 名の文家サウカレイの響品強質が をして見ると季本土時代には支那 には支那

一農家の異解とにより地方取良、産

東亞 (四月) 抗日側斯線

か 的勢力など(五十銭、東京運町内 の護穴強化と蔣政曜の闘弾、最近に おける 英國の尉軍 軍業、東岸 の間東英連と自動車事業、東京 の護穴 地方 大震 の の いっぱい かける 大震 ない あける 英國の尉軍 田 変 で、上 おける 英國の尉軍 田 変 で、上 おける 英國の尉軍 田 変 で、上 おける 英國の尉軍 田 変 で、 上 が い ま で い ま で い ま け る で い ま で

の遺品競賣 力 レイ

6 取引 吉村定継者、本書 は帰出生素様名法単にその成故に 様で工作が輸出の言う。 併せて生素機出の言う。

く、ちりのなかを落どほりしてし

つて、反射を弱くします。卒間にになり、それだけもりにぶつつか ところの光か、とちゆうにおいて のりがとほい、そのなるめにくる

も、ちりと同じゃうに、空を離く のま、ちりと同じゃうに、空を離る の ってきます。ことの理由もわか

11-48

新刊紹

つもおなじところに、丁世、波の形のほうは、ちりに反對して、い

至宝 のこと から申上げ なければ

となければなりませね 階のほうば、ちりに反動して、いうにおもひます。また、何ものか ほうはまつすぐに意趣しますが、さうすれば、そこに何かとあるや そ れは、光のうもで、米の

**三**朝鮮總督府觀測所

せると十五になると言ふのが何 だか有 北思は北地地に

宿

を示めし二十四節氣を計算し又昔の膳に於きましても月の期望

四 三 五 八 一 二七六

でさる好事家の手に落ちた、その

の米國形態の路間かせたものであ 外一八五五年サツカレイが二度目

おって、真空のところに、色の くするのであるといふことを、窓のつわけはない、と考べてあます。 現しました

夕日のときは、赤くみえるのであ か なる點にある本書は今や噴火山上がなる點にある本書は今や噴火山上である本書はで、彼の書書で、彼の書書で、彼の書書で、彼の書書で、彼の書書を表して、彼の書書を表して、彼の書書を表して、彼の書書を表して、

麗客と健康の源泉 給せずとも體内で立派につくられ を活潑に、卵巢其他の分泌器官 る故ホルモン分泌が盛になります 中將湯の服用とそそれで、本郷は 近來頻に暗へられる女性ホル 中将湯が昔から婦人樂の第一人者と 居るのは、此の生理的 近代女性の絶えさる御愛用を受けて して立ち今日益々稀讃と信用を得て **も貴重な作用を營む近代的良郷であ** よくし、澄剌と 康が培はれるので 別が行はれ、 血 こゝに强力な 神。用。遊經經濟學。上。 モンは外から御 治病抗抗 |行と血色を治病抗病作 を旺盛ならしむ にも醫學的に 全身細胞機能 す た若さと健 浮潭。 に し ル ヒステリー 腰 足

冷

舖本 順 天

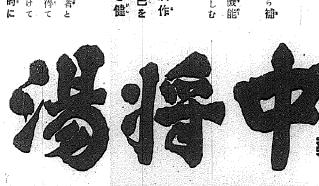
目丁三通區 橋本 日市京東 AOA京東替撒二六橋本日話電

目丁一筋構期長區南市阪大大五四阪大塔區五二南話電

村 津

店本

配用升 3分日 7日分 20日分 40日分 40日分 40日分



人婦的代近

は

地の基本調査を行ひ十二年度から 理教所に頭を修ませてゐるが先 作面積質に九萬九千餘町歩に選

して今年度の指本制造に道内

既作狀況、収犯量での

十一年度に於て大田民職に監報

あるので道質局ではこれ等の

春川」江殿道内の火田民は戸

原道で實施

大なる移列式を駆行することに

これで物情になたりし富

の内証期和実験が再び世に出る

火田民の 基本調查

氏を駐屯せしめたが、當時小宮山

宿賃統制

悪山の業者

大きな痛手

少佐の億行は地方部落民の敬慕す

**同部客配達はその億行を永く如念** るところとなり、問氏が去つた後

もため同氏の質症碑を建立した

元山、勝王寺を一等地、興鬼、北 【悪山門】威密道當局では威興、 増の二十五萬五千七百八十二國と 増の十二萬八千八十二月、一月以 東は八十三回城の六百十二回であ あるが三月末までの成績は出漁回 後の燈筋能事態温祉選手を設けて

面組合では本年も所閣機前四十五

成異】第一區批船匠曳網四業水

の水域に對して猛烈な抗弱が提出ころで解決困難だから返送した。 質、微格とも著しく向上した威用。こんな品を食皿に貼んで置いたと

湯村知事《乘出

中鐵道を促進

知事會議に提唱を決意し

沿線資源を再檢討

【響川】既刊知人のために設ける

領的な發展に基づく事件敷から個地北鮮の現況地に背原道の爆 法院の設置要望は富然だっても地理的にみても地理的にみても地理的にみても成典程語

配施致問題に顕しては成

【阪興】権電制度の實施以來、記に配達しても道につき返される、

内企圏に内定してゐた産業組合。 のは不徳の致すところで申認な のは不徳の致すところで申認な い

して急激した新組合と過去二年唯電に巾着網認可のみを目的と

**咸興** 三覆審法院

事件數からみて設置は常然

繁榮會運動を起す

き役員から今日までの經緯を報告

成内木炭に叱言

提覧も解析で消滅に等しくお経意の概れ維木で格や機は少し、かない

を仕入れたが七日『剛及び込虚は、創長消水干太郎氏は

本年度複算その他を附載したが削

機船底曳の

漁獲競爭

器師しい異態を示してある

の三種に協分し五月十五日までに、他下げさせられたので衆語にとつ。このほぼ平郡から相當数量の木板

ては相當の順手である

もの▲直に厳酷せしむべきもの。五十鐘、三等二國五十鐘と何れも、された、京城三坂道の東木炭西は、を掘行し、引鶴き春季總段を開催し

五月年後一時から公願管で開山武・町鉄・町・野食ニュラニュー・貴長一内金剛」内金剛整整館では去る。日間墓の類く大河内郡守の調修で

は既報の如く大河内郡守の調停で 對題。肥共而處理組合の家工界ひ

削者今流の機連にあつたが、

育は十日午後七時から高野山寺で 等があつて光時散音した。な任總

麗はし嘉山の學式

各部の調査を取締めることになっ

温暖。 義人少佐の徳を

ふ頌徳碑再建

亡失を嘆く校長の斡旋で

內金剛繁榮

年は各思生部落にこれを同談する一萬八千五十名に遠した、なほ今

關屋敏子嬢

元山で大盛况

會寧の花崗岩

鮮地方から供約されてゐたが目下「ことになり、このほど約十萬個の 【展興】猫の手まで借りたい繁徽「耐災中である 警官を選奨

東用解消の通告が来た、道林**孫** 

處理組合が頑張

斜蒸し返す

城津の鰛巾着綱家元争ひ

郡守の仲裁水の泡

選ぶい歴であるが咸南道では今回 | 境建1 | 海東土木出版所長野万誠。れる護悟第一野甲栗の下機分とみ | 方針であると。国に現在宮内の薗を所げてみの警察院の東は攻撃に | 城港(林石 場)検収分 | 春天の本年度(日本業として選上された長輩)である。(東十五日から門前するか今年はこれの「東京の「東京の「東京の」 告氏は六日来城・吉澄四長の案内られてゐる

級りの親手を歴ばして顕著な認識 素拠生、地方後興の各方面に及っ、殿られてAio だける光石豊の織分を行つた石は 素拠生、地方後興の各方面に及っ。殿られてAio だける光石豊の織分を行つた石は ので、現代著字、図 不可能なもの一千九百二十二百に で選択及職歯を決議し殿に双龍に

惠山の種屋

確認者は八名である 【鹿山麓】巻川湾門内の稲垣は水

小材を賣 城津販賣所の成績

4年度に比し約七十萬國の増収を 四日五十四国で林竜約十五立万米 版書」茂山是極智城散木松既選」ら船で内地に渡り、 たける十年度の賣上島は器部 約七十萬圓の增收 伊勢神宮に参拝して黯校する害様だで帝都を初め各都市を見撃し

視察

0

22 E 27 E

AOの豫防的應用

商工商品資質を中村直三部場で開 評議員會 日午後1時から 雌基面工 一種書 まる六 北呼開拓事業の顧詢な運膨振 農民道場の

第二時五巻公響に勢働ひして同日うろ大日夜行列車で清津般博行した。 の第一回入原生四十名は十二百年、妖恐飛鞍の為この難深消中のところ第一時、大郎の大師と四十名は十二百年、大弘飛鞍の為この難深消中のところの第一時、大郎の大は出般。 「成果」新設された政府協民担場

兩切黨が増加 百九十五萬圓が

では、本であると信かる。 でなであると信かる。 では、本であると信かる。 では、本であると信かる。 では、本であると信かる。 では、本であると信かる。 では、本であると信かる。 では、本であると信かる。 では、本であると信かる。

一年で煙になる.

干馴の郷地である、磁類解からみ、盲八十一師、斯华より三萬間老い十一團で一昨年度に比べ十三萬三 りマコーで熨上高八十一萬二千四 學賣上高は百九十四萬七千三百九 このうち一番愛用さ 製質局出張所の昨年度煌 増加、烈は五千歳圓の増である。 じれたのはやは

許特賣專蘭愛 加米 英 日 法製

山青

" 测土博學醫三繩。

八国で三萬五千曜の増、刻の王並改はビチョンの十七萬二千四百十 北西国の破労と

となつてをり期年よりもは別は一

中国 大〇二 大〇二 内地へ足を延ばすことになり「年 大〇二 内地へ足を延ばすことになり「年 大〇二 内地へ足を延ばすことになり「年 大〇二 大〇二 内地へ足を延ばすことになり「年 一萬餘圓の減少、何切は十萬餘圓の

織物工場の出現

の健康は選年事門の増加を示しつ

あぶれた失業者も敷はれる

新會社の準備進

む

出版は非常な期待のうちにある として女工」であつて、精米下場 るる人組工場?新光観物工場 / 同工場使用の職工は程二百名(上 T 長に養縛した吉村病縁氏の途切留 も 11日付少なの参加質を云る四日位 なた田村少なの参加質を云る四日位 「株名なほ吉村氏の波別将曹を五日 「中事からを品族済で開催 いるが、「日本の場合」といる。 「中事からを品族済で開催

ラベき地膜のみられなかつた鉱肉

然類に召手し続くとも七月から操一官を残へてゐる、即下場年確派は に手間取り解氷と衝時にいよいよ。|構なことであると断でも何かと便るが、下場整地の地ならしに常外。|不振で失業書版出の折模非常に結 (四緒することになつてをり、縦 | 約二十萬圓以當で、現在所内の需

砂金探 格的探業 取

同工様は發起人自南縣、自南清」あり有望である。

思みの種穀

長津農振委員會

配給の方法を定む

私

色

協能五十派は四月中に金澤から

要百萬国であつて、総織別何によ

レッチャーは三日から本紀的た様「散興」。成総級道郡縣前の朝鮮ド 開館都コール・アラン氏が埋空屋楽を開始した。何しろ朝鮮越業の とう に関係に耐ちた 現を探及した仏 手能の項目が三た大砂金銭品で

、七日城神者、 出夢與宮、 5 新しい歐霓 便利な容器 最後の一滴まで 愈 AND IN









最後 の勝 閣下班職 利 井上如 

發廣元

商

各號科射 大人用 一管及五管人 大阪市東西北海四丁自

店

AOの診斷的應用 ・ 放水諸國に輸入認可を有する ・ 放水諸國に輸入認可を有する ・ で歐米諸國に輸入認可を有する ・ で歐米諸國に輸入認可を有する ・ で歐米諸國に輸入認可を有する ・ で歐米諸國に輸入認可を有する ・ で大きな、 ・ で、 、 で、 ・ で、 、 で、 ・ で、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 、 で 、 で 、 、 で 、 、 で

| から自力型は確保損助により製活。衝災は振興震が難気してあるが、「内・地法院の第一散鬼扱び物散は一部の呼吸語に貢手した。 るがその絶話は減失と消失上でし、悪計五十二ケ所で、横石地光射人、とみてある、昨年東域爰要法院資产もの、知く蟾蜍各談では歌継道・数を並く配納することになってあっれてある近極通内の季節部見所は、 法説の数置要認は高然だ

北上に『成中線を組る費」で紹介

當局の苦し

**斗續の粗漏を押しかくす** 

となってあたのを「地森山公理校

魔媒られ 今はその所在さへ 不明 っちに心なき人々のために碑石も

れてゐた由

なく結水工事に支煙あるところに「は本府の設可を聖し名勝古識保存」。『甲止中の整部門) いから本所の説可を要するものでしとも遺跡と認むべきものに割して、整へ気をヤキモキさしてあるく意 北鮮日々と本社支局主催で

くして「麒麟門は指定無道物でな」

し所営局は自己の手鎖の相脳をか一止命令を否定総関してある。しか一あるので形では目下部可申請申で

し本版としては指定建造物でなく。あるが未だ総可に至らず観光明を

平壌府廰の大醜態

| 南京の悪販を掘る座派部』を主 れてある| | 日午後一時から邑事節所郷上で | 名出曜する野でその成果を期待で | 南京の悪販を掘る座派部』を主 れてある 「雷撃」北鮮日々及び京城日報の一能することになったが當日は在職」の生活にも事缺く中国鬼の乏し あす座談會を開

の生態大学の重要線域を開催し、から駆け等で重要線域を開催し、から駆け等で重要線域を開催し、

はれ母の嘆き 息子が縊死した 既けつけた定乎郡佐住の實典金昌」を決定した
「駅はつけた定乎郡佐住の實典金昌」を決定した
「家部に望を残った「野宮の果てと物」に更多設置を関き、原間郷につい

正よる。

→ A内山側町 (咸興城県台小型校長)
- 本時、咸南支局東訪斯任接辺
- 本時、咸南支局東訪斯任接辺
- 本時、咸南支局東訪斯任接辺
- 総任

文 京城から七日 出日と新聞就長) 出日と新聞就長)

十年增 郵券代用可前金送款不要 代引

長

曹蔵出席の

のはじめとなって、不断型務課より

玉さんCallは影質の一夜を明かし を追び李承譲の死の松林で間じ枝た八日午前六時半、ろ風子のあと

同じ枝で死を企つ

爾商生內地見學

确隊長 談長

六日酚脲 七日政

**华庫縣-幸子園前。** 

松圆

雄杂岩) 六日曜

発生語に入るこ 分所式を指す後は 対の表現を表現である。 

瘦 A Q は有害なる過敏元を含有せざる個特の結核歯製剤さして歐故に治療、豫防、診斷的應用に當り毫も不快の副作用を發することがない。

呈 解 上說

+

三間以上の問品に對しては職権

らかな幕開き

慶北も今年は工事の當り年

**労銀の兩三百萬圓突破** 

馬山」中型夜の人製式は十二 前十時から普通恩校議堂で銀行

まつ所内では総合グラウ

あるが今年度の作付反前二十年~政善の指導質跡を加へ至記事項の

園城 即では福作に力能を入れ

純營支局で **盟員を募る** 

固城の棉作

と言語その他を選信し整備する 九日新任坂田校長の古田を得

**予七百九十七代即も反常歌紀垣か** に全力を認確してこの収量を百六百七十六町収穫盛一百七十七萬八 改善實行によつて反常 気量の増加

成職能び概化増産計畫の目標受當一に目標を置き積極的場底を計るこ

一九斤に過ぎず之を光池地の一十斤とし共同販資品を自五十萬斤

関係と栽培法の戦長によって得 全作的反応 とになった

本作即の地域へ専わの政済へ間は作の全域へ助作業の通道人を開の政済へを開い職人の政済へを開い職人の政済をかい加し、人のは、大学を全人が第本数の対加へ協関作業との最適敗した。

影腊を左手により影集することに 統合支局では減海、馬山の艦隊 ました機はいよりく開花を含ぎ 「『『一番間に弱はれて雷をふく

### を辿めてあるが、これが實現、自他共に許す馬山としては欠々的、保護を面喰らはせた 便船毎に續々ご入來 慶南當局案を練る 段が教師する親で朝野都市として全すれば鮮から干五百歳名の敬養

創造馬山支版の多郷新築は女學校「馬山」脱穀、像て訓読中の国電

附近に變更

立馬山際院府正の道路側を希望し行懈んであたが、罷近真電では道 が相互の主張に相當開きあるため 地に選定し所當局と挑酌中、地似答何意西側所有地交地四千坪を炒

処地を更に選定中である

二十隻新造

身許不確實で上陸禁止も多い 山川署取締に大苦心

【ヨー】馬山在地軍人分割では八 馬山鄉軍打合會

徐名でなほぼ々使船低に上陸して「とみられてゐる」而して提示金百 も今年に入つて入事した器は五千一郡長鹿線でも損當以発されるものの参数に達してゐる、なほこのう。十一、二の明日附かれる全鮓盛等

り受けた、総戦などの耶田」と原機の値況を記し、半點の影響、入師を検捕する一方法も考察され、是完全首別を一時或利貨、居り、入鮮水端が改正される以前、側は少額であるのでこれを増加し

は漁獲物の収入によって信却する 隻の漁船を新造して貸耐、建造数 製書かば外に多いので機能的に今 小資本漁業者を保護するため更生 【釜山】道では、良漁船の野及と 方針で批批をするめてゐるが、布 部落に對し十一年度に於いて三十

道立醫院の

香採用したが腰壁番は二十五名で 【清州】道题では八日午後給比二

給仕の志願洪水

**临闭築港博** 

寄附金募集

ホーム完成

永登浦,匹與——水音浦驛

打合館を開催、金知事の非示後指 堂で松島内孫派長就武の下に即馬 清州一道では邑面は副を埋立手

次第に張くなり、

「吹世物や場他へ多ケ等」り、暗画の方はギラ ( )と

が動ります。焼へばショのある へて触りますと、人の皮膚もそ かけまして概ての草木が船舶と

**競りで御歌いまして丁度粉間着をお召しになるない方が多い様で御歌います、脈は犬粒ならない方が多い様で御歌います、脈は犬粒な** らない方が多い様で御歌います、脈はだ壁なれに伴ふ弧脈にはそれ根の腕段をお浮ちにな

こうなさいませ

って平常のお機物をお贈ぎなつてゐるのと響

機定が綺麗でなければ魅力のある側化制は決

。排作のおたしなみが概なしになります。

て軍く戦が大切で、この部れ職な際職への御がな話で取きまして、職と職職空聴器を職しがを話で取きまして、職と職職空聴器を職しがな話で取きまして、職と職職空聴器を職しがない。

釜山無盡

ことに決定したが問題の取締役割 長は大池源二氏に内定せる模様で 立された資本金百萬四の並山無盛 「釜山」過酸無端統調の方針で開

ある

・笠原存館では 三一笠 保存の 講演と映畵會

曾用低、日割は次の通り援で南駐地方各地で構画及び映高 世言作の締めた外頭です。

されて思りました。 けた保な美しい肌になり守まで協いれていたが出来ます。 ですが、それは大連石でも膨き上されてが出来ます。 ですが、それは大連石でも膨き上さればが出た。

のソバカスが て便用し始めま一にて大量が御送り下さいませ。 ツカリ 綺麗に

唐津市 福田 香代子

馬山】所では博多大門體質朝鮮、組次ぎ環期の成骸が暴らないので一つた **坦高女校設立 赴務所、法院合議制復売等の寄附 | を達成せしむべく楽出すことにな** 

に質現を期すべく

を推験し他の復就は避日都内の内 を推験し他の復就は避日都内の内 を推験し他の復就は避日都内の内 を推験し他の復就は避日都内の内 とたらした日白後、削齢長に商工、は一枚もなきため人樂術認識終く には道殿部を掲跡或して各 原館長に下白白後、削齢長に商工、は一枚もなきため人樂術認識終く には道殿部を掲跡或して各 中實地を期して猛進動を開始する。は内惟人人、鮮人四の割合で我緣。に増産を制する上から優良の 宣る邑民の撃であつたが庶上本年とになつた、なほ女皇校設立の鳴 | に分けて播観的善を帰版せし 「浦項」協友校の設立は久しきに、鮮有志を網羅し近く實行に移るこ。播館前後の指導、播館の實施に 發起人會の陣固 郡に置で共に勝入の上に家へ配布七十二萬元で共の内州八萬氏は各昨年に比し二十町歩宮、棚子童は 一張、龍紫質素の計造である、なほ には道幹部を増加到して各郡へ出 本年の播版面積は一萬三千町歩で

印刷工

天候景る 一週間以上も遅延

【馬山】中學校期成館では八日に

は従来、四月廿五日のであつたが、に至つた、五月二の原循磁せしめ、「月別」道内における様に搭極期」週間乃至十日間巡艦のやむなき

忠北改良指導督勵

今年は
が温地下に
禍され
例年より。
ること
、なつて
あるが
本年は
特に
一

[仁川] 八日午後玉牌四十分府內 石垣が約九坪崩歴、原下の時和里一八二代東和坊の高さ十四尺

右足に単例を直づた、提案的内首・手を整截・前側工安補性(ご)は一番を整截・前側工安補性(ご)は **沪州郡是製絲** 

萬圓を計上専任技術員を置く

打街地計畫調查

人都市難談に向つて護避すべくす。武舎に乗り出すことくなったが、 振振訳志にも駆聴する重要動画で、四で著札した、新波町路住下水海に大郎市山地計畫を實成し海承の「人当門の変権或を住所して本際的。野に市町ばかりでなく行政門師大 の長谷漁文邸氏に:干四百四十七七大郎市山地計畫を實成し海承の「九百五十組、建賈自四州)を訳こ たすところあった同び師の剥査は「綾玉華を人札に対したところ清僧」 山岡本府技師《實情視察 る二十九日の天長節の健康を下し て世正有力省多数を招いて盛大な 間を解出、目下工事中であるが来 下職員、女工、師人等が合計約二百一 建設することになり他加丁規長以金湾茶の一端として関連規規数を 清州 | 単是製造工場では過間間

姆族関係はを懸行するとになった

のとも思はれず、また診戯間に深一 仮料事 「うろこ」で置されたが、 上川」低版、西海県現場は八日 【釜山】道水産试稿場では道内沿

道廳移轉とともに市區改正

酢を埋めるには至らな

通廊の移廊新築に伴ふ市街地の竣一合則通りを直線に延長して那种所

明奮田中央部を祈諭、清州異恩殿

に接続せしめ交、本町一丁自北一

大邱體協庭球部 の夢樂し

スケジュル決定 會▲五月廿四日帝季耶签兩都市日府爭盃爭奪女子大邱選手 棚大班 不可老風 選手體 大會▲五月九

▲二十五日庭輔、水上、下仁川
め左記日程に變更された
の方記日程に變更された

川の大掃除

日牛角、花半、萬石振出所管內外里、花町派出所管內▲二十七

一夜可能料で常出委は館を聞き十一 年度のスケジュールを左記の通り 體不會▲四月二十六日大日盃爭一四月十九日府尹董爭奪大邱選手 四日全館選手權大會▲六月二十交隨定期職(於卷山)▲六月十

角形は、に於て先づ相何町の街路新年事通過したが、八日午間、道路

化して来るものと期待され二萬一 何等かの清州昌都市部撤案が具城」所含して題に旅院を重ね、いづれ

干解の市民が要望してゐた大治州

擴張お祝

長谷氏に落札

質視も愈よその曙光が現れて來た 肥散その他を聴察した 脚は八日思州に向ひ同邑の上水道 ものと見られてゐる、简母語宮夜

【清州】 臼當局では急遽な市町の

近日におおところ疑惑にも「背」と「年所質人夫ル十気人と加いるとな」(上して、一種目間、遊聴會最差で急機に増したが、砂朗事業及び一」され、東海中部鍵壁良工事の一ケ「巡査郡兵策記載験合格者に慰し来工事の施工により管験は「一月末、忠北道整統部で施行した工事の施工により管験は「一月末、忠北道整統部で施行した」

府廳舍の落成祝賀をかねて

十八日盛大に擧行

**秋長)同上** 山田立嶽氏(新大邱南旭町公盟

物ラッシュに到出すべく

永登浦驛貨物

職害が急に強て参ります。處が季吹か

を認ぶ既になりますので細化粧 るに能ひ一般の好みが振くあつ

ルを聴ぎ、或は洋腹でもお母しになると頭筋 ルを聴ぎ、或は洋腹でもお母しになると頭筋 が急に目立つて織りますので特に頸筋にも充

は大阪師野心なざる場になります。静僻な神・自然の地の土薬となるお腹の鳥いがや際いが、中間が大変となるお腹の鳥いがや際いが、中間が大変になります。ですからは、地域が大変になります。ですからない。 の御手人が最も必要となり遊賞

の色黑が 脚結瘍をお掘ひになりますがそ 申し上げたい事は御婚人方は大 さらなければなりません。

は空つて手機に行へる事で衝撃います。

地へ蜘蛛交換にきす。 (優勝) も求められますが、気管は直接動す、この近くの順度や化粧設度で も要用させて頂く取りでございま

手関も左に御紹介する英肌法をお採りになれ かいかい かんかんかんかんかんかんかんかんかんかんかんかんかんかんかん

小型は摩窓時代から色が思くて一處、氣持のせいか酷色が大統則へ 想外の美白さに

京市神田甌小川町東七十日往太 春社レオン庭舎(北景東京八八 一番)から数要されてあますが、 なるべく製造したばかりの効力 の選い製品を廃土にいい、連 選った其、松坂鼠、松屋、白不屋 越った其、松坂鼠、松屋、白不屋 越った其、松坂鼠、松屋、白不屋 がの代理部及小野の勢約まの会 計の代理部及小野の勢約まの。

でする個代金引着での脚十四級領土 の活料内地十級、領土四十二級) では一個四十級、領土四十二級 の活料内地十四級領土 文下さい。

で閲校の

品述文献 医度科巡尿器科验 股度科巡尿器科验 股度科巡尿器科验

展帯が展出を確定的です。 ( 舞田藤順常平道 ) 東京市河田・東京市東區 淡路町 一丁目 展発制京 五四〇章・代東龍浦神田 一〇九章 展発制京 五四〇章・代東龍浦神田 一〇九章

献進

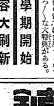
물

薬無し

求めの顔は京都管園大學化星研究原都南バロールと無指星を変え。本朝は樊特の祖オルガノブル四樹油なれば絶対他に預品なし、お貴本朝は樊特の祖オルガノブル四樹油なれば絶対他に預品なし、お貴

寮す直接註文は左記へ爲春盛春又は代明にご註文才集急送す

◆バロールは全國各地省名獎周華店並にデバート要品部に販



容 學期開 大刷

員大寨集

醫學博士 吉村喜作先生發見 Prunus属植物の有效成分製剤にして、不快の味なく、 胃障碍その他何等忌むべき、若くは危險なる副作用を 伴はす。應用上極めて安全なる點に於て異常の好評を

**曖嗽並に喀痰を伴ふ急性及慢性の** 



服内ドイロ

(許特法製)

消毒、制臭、殺菌力强大、最後の一滴に至るまで 完全にその效力を保有す

オキシフル以外にオキシフルなし 模倣品あり、御買上の節はオキシフル及び 三共株式會社名義に御注意顧ひます

東京・室町 三共株式會社

一瓶100瓦入 500瓦入旅行等に携 帶主便なる錠劑(50能入)もあり

價 料送 薨 滿 内地 十五鏡 十五一厘八 圆码设统

銀オルガノゾ ル白檀油

職事に對する六○六號と同じく淋疾治療の 一特殊醫効に於て『銀』を凌駕するもの無きは の子化することも、現こ間中の鹽類蛋白等と の化合による治対減殺を回避すべき油類媒分 用さる、程度に止まり、一方占來個用され來 りたる自檀油は胃腸障害の副作用激しくして 充分奏効を見る迄の連服を困難とし、故に淋 疾治療上に於ける諸缺陷は指摘され乍らも未 だ有効的確な解決も見るにいたらずして今日 に及べり。 安全……治効卓越せる

京都帝 化學研 究所 或 휀 學 製

# 横屋守中先生 talky I manufacture to the state of the state o

よで出家辯権 或

博し下記諧症に盛に愛用せられついあり。

颠·> 三共株式會社

がら那部万闘、規則に居合せた百 得たという国路監御史上報館すべ

肝と延過し、弱と全種に許 量能名の良民の人命をよく

## 過去三年間

【東京電話】去月廿九日來割以來

ラツール伯

たい」と名残りを散みつく別れをいい。と名残りを散きでいる。 向して脳関の接要を述べてご

乳いた出腰に光立ちラブール伯は

| 放送部はをマネージャとし確性、 選出の人選中であつたが、頓母木 の我が選手の活躍振りを追接管場 十一回國際オリンピック大西出場 今夏ベルリンにだて開催される第

を生じ近年幕の積雪、火田民のた

物は九日午割九時開廷、水野瀬氏 帝人事件公判 街 同十一時時所・趣物長は水野山の 職しては見数に等しき数字の羅列 れは結局体が分らんことを握

殿間の電信不通、邑府も電信故歌。氏は期回に引載いて象徴の内六八ミリを示し交通性総、元山住。の二十六回目の戦弾に入り、 総合職の知酷を指摘し
反映し、黒川氏に對してはその趣 氏は削回に引置いて摩伽の内容を

歌しては見数に等しき数字の解列。 ご選手棚をとった網館代数李継数歌しては見数に等しき数字の解列。 ご選手棚をとった網館代数李継数歌しては見数に鑑定人項合氏の所説に、本選手棚へ合に天晴れケエルターと歌し 野に鑑定 大晴 でき

十一日に歸城

構成がるに主つた問題の借人様

阿呆な魔除け

はい 書

海海縣 以入中 矿色山色 医腹膜 以入中 矿色山

具店

本一角を 一角を かります。

(則製盤松馨田高)

おれ売らかく効く効らかい良

THE REPORT OF THE PARTY OF THE

命は

少年が蘇僧が島の緒のお礼をもつ ていあなたの家はどうも思連がに

明鮮競馬俱樂部一門一十二日(金)十二日(日)十二日(日)十九日(日)開催第一次京城東大門外號馬場大田(金)

京城青雄町二の一九文昌一さんの 浮氣女房放火

僧の半額 京城雑誌會 京城雑誌會

射カルケ

買ひよい

五味地が出来ま

近で方葉子店・食料品店にあり

特的店寨集 状痕器品 特許品票 医普朗克希曼 医普朗克希曼

<sup>本販売買</sup>型配 花柳病専門

いて晋内各四成者に密仕する事に

算を膨流した外、同警院部京城府。月曜日を消影テーとして家屋の内。十月の勝チプスな所述射は午朗九 江面朝牧里の故場に起り、去る

明快日

同英田宮 作語 すは時日

Į

ABChs

FIX

十五ヶ月卒業!!

然るべき犬杰昭蔓延の間向に京城 でした父親を設出し死刑に属せら れた平域船橋里端米澤莫天一

坐前的 

|| 毎月壹圓!! 内 地 人公中計劃計建にて
四角五数(2)での方角:1一年戦争
四角五数(2)での方角:1一年戦争
「四角五数(2)での方角:1一年戦争
「四角五数(2)での方角:1ー年戦争
「四角五数(2)での方角。1ー年戦争
「四角五数(2)での方角。1ー年戦争
「四角五数(2)での方角を
「四角五本なりを
「四角

店 員 祭果 中職学司度調査を開送した。 ・職学司度調整書館付きれした。 ・職学司度調査を開送した。

政会是亦進呈

研究社通信學部 東京響町區第七見町五 

The first of 5 days to the first of the firs 「保証制の報告を持ちたい」 「保証制の報告を持ちたい」 「保証制の報告を持ちたい」 「日本大量が長期に、「日本大量を持ちたい」 「日本大量に関する。」 「日本大量」 「日本大量 「日本大量」 「日本大量 「日本大量」 「日本大量 「日

代 京京後修 城城山山理 木町大藤店 村井黒田 村井黒田 村大東西 町 三 町 町 三 町 町 三 町

工學校に 整智 20 31 50 1.00 全國現店 特別拿贝

及特約店 及特約店 高端世界アスケーキー械 二馬力目の一年 第七里ながら高い有り中で 一和企用的有支店 一種中では の一種のでする。

# 山本君が渡歐

警告、威化徹底したの

よ善導主義

**尿城保導聯盟今後の方針** 

板倒れ工場休止の狀態

中九日午町六時四十分短興宿附近

紀たので三十分並住生した。進行中間性が網路上に回版して

江陵の雪

和十年度決算報告師に十一年度第一一月曜日を治漢デーと定め、第二

めて廻る事に決定した、外係月第一なつた が議を打ち鳴らし町内の既芥を銀 位職はすでに約一尺の積雪を見た

母週日を決めて清潔消毒蠅取り

鐘を鳴らして塵芥を集める

れが高め羅地震京城行急行は途

慎雪九寸:霙また降る 多く、送電線器は選になるも

して停電整回に及び断は暗肌と「阻動の見込みなく、工場は休止の

九日朝の獲労甘じセンチ、な「吹嘘にて市内ではランプの用意を一京元線添願は北は八日夜來吹等」 京元線も生害

七キロに及び引き附き除削あり

防費に献金

合の腕結を新たにし、市内に於け、し、その利益金の全部を履掘費と、管されて思う、倫選手の申込は第三を開始したが子目は年期十時から、市時の時代の改選で根、自動主義主大師を五月二日に認行、気するがと、別味を以て、 鯉に即、海では全鮮に無けて九日から総蔵 **尽城自轉車商工組合主催** 以て軍事及前城府尹の助力も得て、前、前の総数と共に応すや臨況を

優勝者には府尹カツプ贈呈

九日から種痘

**医弾ワセダ**の強剛

の第一日曜日でもあり、また組合 て碁50の第一日曜日でもあり、また組合 て碁50の第一日曜日でもあり、また組合 て碁50 に、その報論での全角を開けます。 第14年 (第14年 年度の種類は第一期(出生後九人が開中である、常日上際化版で着 野自戦・地震・海軍が所(京東府と 年度四種類は第一期(出生後九人が開中である)、また組合 て碁50 によって (第14年) によっ

各務原電話】板単衡皮術院前務 | 下に同盟作品の質点を公開、多大| 世界に誇るべき人

**ジネ』で開始側、早大同総館周ら** 

武合譲想 長頭の疲れもみ

され、調測巡勝の能統をかつて元

一行中七名は本質助数機に引導

ウオーニングアラブを行った

社もなさず芸様プラファドキ島、「この現職を職版せんと感覚込む見ふの関語機能に購べる認め旅の影。静をも乖服せんと意覚込む見

人普專軍と試合

各種原理行第二個陳州一等軍職移の質脳を限し更に引収き改良に密

田秀馬氏が、上除年間鹿玉を忘れ ての熱心なる砒霜に成る人工呼吸一特許局に對し特許申請中の異、こ

器(自動発生器)の範囲が設け、 昨年四月陸車省景が局長立館の出能を有すること説明されたので レガー呼吸部に比し級を投稿なる「彼る病虫の場合も常治に級ひぼるに比性系に唯一のドイフ等計器・ドー選に後の病虫の場合も、彫ガスに日本経現界に一大動物を襲くる既一あつた、この人工呼吸器はき胚展 ガー呼吸器に比し鮫多世別なる

理想的影響器となったので、

民衆の危機に身を挺して庇ふ

獨山駐在所員四勇士犧牲的佳

関語官に對し用財金見郷金をそれ

に胞かせて見物、十一日午後三時 を迎くて監備を照り、九州総地の「朝鮮朝取しようを迎くて監備を照り、九州総地の「朝鮮朝取しよう」を迎くて監備を受ける。 九州総地の「朝鮮朝取しよう」とは野の旅行シーズン「異名手は1)と 簡諧仙を廻つて熊本に出て、

豪勢な視察團

さく夜入城けふ見物

の國の人たち

八日午期十時五十分京城出郷、原温を記さすることになった、十 既頃に賑ふ世多に先づ一般して長

始人の申込も必数ある

一緒洲の視察を終へてこれからサク

ラ日本の観光へ――何でも一等づ

一般内地に向ふ撃定である。

けふの天気

脱の謎

隨入

· 京城府水栗町 :

電話本局?2001八香

Æ

七酒 <sup>島井</sup>病 赤 道 動 形 記

版大然目專門樂學

九州靈地巡り

「正直少年」京城師範人石辿る

○紙一萬號記念三千圓懸賞一等當選 發展斷上演映圖

(118)

時だつた。一人の男がドアをする。 るといふことを、名刺に書いて置 響楽がよこした花をいばつてゐる。 から、私は、明旦正年にお師ひす

いて離ったのです。

つと聞けて超入つて来た。 『御蛇下ない。昨日は実験しまし 健次は振返った。それは児知ら

如子なくニコーへと笑つてみた。 『昨日だと仰言いますけど、飲は たはない。人怪こい男で、絶えず

でなく、脳西人らしいやはらかみ 併し言葉が、東京人のやうな結音 たので、一度はかう考へてみた。 すが、おやどうかしたのでせる。 **電磁のテーブルの上に置いたので** 健次は相手の態度があまり温度

触次は仇敵に對するが如く、

日番 金曜日 組

| 生界品(五) 湯次 | 場子 | (東) 実庭メモ 四〇分 今日の天氣見込 一〇分 (東) ラヂオ腑操 一放 送

同九時(東) 安庭メモ同九時(東) 安庭メモ同九時(東) 安庭メモ同九時(東) 安庭湖縣(料理献立同〇時三〇分(宋) 安庭湖縣(料理献立 景澄と調理(三) 編人と子供の 大阪市立衛生試験所長

でいた、昨日お聞ひしたのですが、 館次は人違いをしてゐると思つ から訳き返した。

「だけど、此の方はお名削を仰蒿 「一・一変な偏勢狂に見込まれた

村智美さんからだと、花屋さ 誰れだつて?」 ……はくはく あなたが膨つてあられるものです

二流争弱血

翌日をやるかられ。 ちやすみませ た花と、此の前の花と取り替ん 智美もやんの奴、時々あんな 香 落

会設石

藤

銀 秀

吉郎

井

やらにして下さいこ	、どっなりと、貴女のいく	すわら、私類さま		どこかにらつちやつて下		ていくんですよ。そんな、どこの	かりですのよう。一方でで乱の狂、今取り蓋へたは	
八	Ŀ	バ	Ж	14	=	-		
7	П.			÷		對	香	-
	4	金		路会	Ŧ			-
Ţ	Ŋ		-			4		=
泥	銀	47	4	4			4	74
Ŧ	题分子		_		٠,		华步	ĥ
	鲻栓	1 ,	步		:			六
5.	Χ÷		0 - 12 1,779	步		步		Ł
٠,٠,								
	=		金	銀	玉		6.0	٨
	=		金	銀金	Ŧ	桂	香	八九

配:間	Al.	my				à.
<u> </u>	7	養	7	47	<b></b>	
観り間を上降間	出	3		3		
	T IS	 	銀	銀	4	
	£	44	4		-	-
				置	1	
∇		Ē	33	荏		
の石井間				<u>.                                    </u>	-	
間もマ					7	
期回は漿擦君が九一角叫も無言なら寮優氏も又		44.	e de prop			Ÿ
際ら間書番三	⊽.	▼ \(\bar{\chi}\)	*	7 .¥	Σ	2
が設力	北北	香步	一大性が	9 12  - E	香	
九氏五分 氏も分	(15 分			(E	. ,	135
<b>以</b> 昌	70	15				1
足	+	級こ	肚で石	し有で国	i i z	
i i	良	T.	T	4 1	0)	

受付の女の人が、花を取り香へ

前の花を撒つて行つた。

で舞	77 時
HARD .	なら 寮原氏も又無言時間 三十九分
100	3 (81)
6	W
70.	Di -l- i
際君が九	J
2.0	علا بالبياليا
	<b>も ガィ</b>
f#j	7 1
	loc 4
と成	
門と成	3
6.00	57
	101
M. Barrer	- 41
	足跡形骸法なのだ
प्रता ह	E W
RH h	
1 . 1	g Cr.
1 1	1 1
44	( O
1X "	X
細い技巧	1-
- 1	٥
	質义去

此處で御費の通り八八飛と打つ な話

(8 分

懸命の陣立

王俊尤もらしく見へ ほるをいふに外ならぬのであるが 厳峻君の七四步と柱 躍より分離して一個弱立の人間と

易二郎

るとは我民法の規定するところで 人の権利能力は出生をもつて始め 私催の享有は出生にはじま いものです。それに、間食の改良と

•	L	ij	学)	上れば聞
	生れた子供の	家庭と法律	婦人の時間	The state of the s

東 祥 丸 仁川出院

東 助 丸 月月 の様なものまで鞠容にしなければ駄目、

出(「川路田、九州古地行 ・総末知間休記) ・新瀬へ左配へ御側会士送下を検 ・「一川勝田、九州古地行 ・「一川勝田、九州古地行 ・「一川勝田、九州古地行 散場の形が観音を込めて掛へて果れた水

成分の

版画元〈申込衣郷 版画元〈申込衣郷

總代理店。 東京大阪 Ŧ

90

£ 金

脂囊元·栗京小石川·

大日本雄樹裔講談社商事部

整料

代進星しますの

高と語の感洲和國海軍の狀況 電と語の感洲和國海軍の狀況 同六時 10分 (東) コドモの新聞三、兒童劇 おどぎの手箱 五年新田治子 同八時三五分(東) 東明節 ロ、トルコ鼠旋經調 三、即興曲を関いている。 一、一部合唱 て・ナ ニユース、天氣見込、職 二、味椒 六年女子児童 おとぎの手箱 若人の夢 一枝 が一枝 が一枝 から抜け出しておときの繭を が びんのいまな人形です。 変 道 る後の事その人形が主権の中間 第3 る後の事その人形が主権の中間 第4 を から抜け出しておときの繭を 本リス再放送・京城)(レコー 同七時三〇分(硫)花めぐり(第 高九時三〇分(東)時報 エユー 子十七ヶ條憲法の劉誠、聖徳太 高山縣為 (東) 時報 エユー アービケ條憲法の劉誠、架徳太 南山小學校兒童 ことが出来るのも成長期に銀いれ、同は母親の食物の臭素如何で定り 高橋マンドリン・テンサムブルード後零時五分 マンドリン合奏 第二一放送 同一〇時 ニュース (無鮮語・後 同七時五〇分 の良否によつ一、狭定せられます。 一生の健康も大體この時期の食物、時代、即ちお母さんのお腹に居る 座講庭家 の能、小町の服飾と者こなし方崎縣下縣郡久田村育志。同二時(大)婦人の時 局縣沿腹郡山南村有志 露上から一番大切な たり埋えたりする位のこと 榮養と調理 マダラぶし ロー 婦人ミ子供のための築養 四日)福岡市匠公園より中層同七時三〇分(福)花めぐり(1 より中繼 大阪市音樂版 巻)】 ここ、シャな、巻 林谷演奏所 男女の間に出来た子についての家 木谷 千種 常明し宛に内縁の夫婦郷際にある 策其他 第) 時事解說 

め此の大切な時代の幼児の発音が

本

九州郵船林式會武出 跳 蜀 告 電話代表番號一〇〇香

骨骨折、頭部筋筋といる重傷で入院した と書いてある。記憶を辿っても踏場の**所** は假死の妖態で、二十三日は学意識の状

日日だ。足はヒヨロつく。一・二の親方 建院したのが八月の二十一日、百〇九 話がしす込み入って來ると頭がポーツ

移し何倍かの湯を入れて飲むと甘いばか まっぱへ持つてゆくとはいく。茶碗に りでなく、皆いといる味がついて來る。

無能なくされたものは、医療か、行か、



私を満足させて異れた世野時に18月2 総独に限られてるたただ。世際としての

そことが分る際になった。

事がいたが、 に出すこと でもやつて



の夜の

出

來ごと

葉 Πī

西

春

# ので何能の家語の家に駆すべき

銀の懸限してるまる物質の容術会に

のと、私自身も無空食し したそれと前なり、数 發病者五十名の手書に ち健師職へられたる公正子引直し際の如何を説きての機啻に膨正即

丁度常後は私がおなとして宿食に東たり

何でせう。だるくて聞けなかつた眼が開

コップに一杯飲みました。脈がこれは如

家門は繰りの不思議に、知つて心間職権は難らんはかりの表に、知って心間職権して一杯のみました服益が定難づき職種して一杯のみました。

September 1

試し下さい♪ 指のの方はせらお にない♪ が毛、若充

て、去る十一日気の中毒患者発生致し、

男女の間に出来た子についての家

子に掘し一家削立の手能さを説明

類致し、値か一日の間に 離機物も食へず、熱に致 下痢と胸肝と数痛とに

四月十四日 四四方八十二 長綱、雕兒區 す、限を開いてゐることさへ出来す、全 単や観出ることは出来 く難の勢を落しました。それでも早

> 題が崩んで下痢をするかと少々不安でし けられるばかりに光報づきました。今に

が、一向不気です。

それどころでなく、スケ戦闘さへ見る

短いと激し、味についてるました。 無して、黎夜へも出たいばかりに、 慰湯 は如何か、御観の社なら如何とに無づつ 脈が苦しい時の触動けとでも申しませ

めませら、そして子供達にも本當

づ領人達の食物を改

に母體を作る金物を懸へませる、



のした。例めて手に入れた時など、生の

破といっても これでのかに 概をはて際に少なくなつでき その思想の 提上願以は るが、映画 の被答が為 いたのといい 散步が確

が睡の山路ふか子さん 振彫の相間にキット、 『2012の』をお飲み、 『2012の』をお飲み、 『よくそんな苦いもの が飲めますね』といふ すると、苦い所か知る おいしいのでピック別る おいしいのでピック別る おいしいのでピック別る

がついてゆくその様とつくりです。

この職ばかり『動き目の表睛らしい』

れ上召ヒゼは方なんこ

有名集店、食料標で非常な大賣

とりこのはお藤

▲離乳期・乳不足の小兒 ▲消化器の弱い人 ▲産期産後の人

品店でお早くお

●聲育不良の小兒 ▲神經覈覈・老髮の人

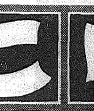
結核の人 程房告の人

produktija L









が、「ロロンの」が断様で時に、

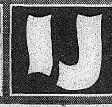
行かる次部 数文を草し か様に効果。

直ちに数へることは川米さ 私の生徒には私が鉄路中で、

の機能を

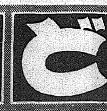
翌日は郷を食べ、泊日目には管校験しま ることがスク分りました。 してるました。無しその心臓は無駄であ

質量に磨く感謝いたしたい



を養ふ

氣精力



許特賣專 料養滋の

弱體質

56

0

虚弱病

癒し元

疲勞を

有効成分であれる る都朝時、果期を る都朝時、果期を ーセント含なすの

を强健

にし

榮養料